

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成27年4月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15

一般社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(税込・送料込)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

神の声は聴こえましたか？

岸 真司

名古屋第二赤十字病院 第二小児科部長
医療情報管理センター 副センター長 情報システム室長

この号がお手元に届くころ、春が駆けてきていることでしょう。私が毎月通る道に、桜の木のある踏切があります。タイミング悪く踏切待ちの先頭になってしまっても、この季節に限っては得をした気分がするものです。

さて、車窓の季節を見ること以外に運転中の楽しみといえば、ラジオの朗読番組がまず浮かびます。この機会に、以前聞いて感銘を受けた「楽団兄弟」をご紹介しますと思います。オーケストラに入団した若者が、あくまでも正直に音楽に向き合っている先輩団員に導かれてプロの音楽家の入り口に立つまでを描いた、宮下奈都作の短編です。主人公は中学生のとき、演奏会のステージ上に憧れの奏者を見つけて興奮のあまりに訪ねた楽屋で「トロンボーンは神を表す音色なんだ」「君は神の声を聴いてみたくない？」と誘われます。音大を卒業してすぐオーケストラに入団、遠い存在だったキーチさんと並んで演奏できることに喜び、早く本質をつかもうと貪欲に取り組みつつも、なかなか神の声を聴くことができず半ば諦めかけていた時、「自分の音だけ聴いていても、神の声は聴こえてこないんだよ」と、大きなヒントをもらいます。

みなさんの多くは、診療情報管理士を目指しながら病院という組織の中で診療録を読み、数値を読み、結果を発信する、といった業務に携わっていらっしゃると思います。組織をオーケストラに読み換えると、診療録や診療データは楽譜に、業務を行うことは楽器の演奏に当たるとはならないでしょうか。そうすると、自分の業務に注意を向けている限り、神の声は聴こえてこないかも知れません。キーチさんは続けて言います。「楽団の中にいて、まわりの音に耳を澄ませていると、音色が聴こえてくるんだ。ここにこんな音が響いたら完璧だっていう、まさに神の声。そのときにその音色を吹いているのが自分のトロンボーンだっていうのが後からついてくるんだな」と。

オーケストラにはたくさんの楽器があります。目立つ楽器、地味な楽器と様々ですが、作曲者の思いを聴衆に届けるためには全てが重要で、どの楽器にも神の声を担う可能性があるでしょう。同様に、組織の中の役割にもみな意味があります。自分の楽器が出した音、業務の成果が、全体の中でどのように響いているか、耳を澄ませてくださいませんか？

